

8月の星空まっぷ

【8月中旬、午後8時頃に見える星空】

夏の夜空は、何と言っても天の川！その天の川に沿って走るのが、宮沢賢治が描く「銀河鉄道」だ。この季節、天の川に沿って走る銀河鉄道の車窓からどんな星座たちが見えているだろうか？

ハイ。ホミリー、その童話読んだことあるよ。たくさん夏の星や星座が出てくるんだよね。そんな星座たちに早く会いに行きたいな。

「銀河鉄道」が巡る

夏の星座たち！

宮沢賢治の童話「銀河鉄道の夜」を知っていますか？この時季、まず思い浮かぶのがこの童話。どんな内容？か、はさて置き、童話に描かれている夏の星座たちを見つけよう。「銀河鉄道」の始発駅は、「銀河ステーション」。天の川に大きく羽を広げる「はくちよう座」の近くだ。「北十字」と呼ばれる十字架のような形の並びと、黄色と青色に輝く二重星の「アルビレオ」が、はくちよう座の見どころ。そのはくちよう座の南に並んでいるのが「こと座」と「わし座」。この2つの星座に輝く1等星が、誰もが知っている七夕伝説に言う織姫星（ベガ）と彦星（アルタイル）だ。

そして、天の川が南の地平線に流れ込む辺りに赤く輝く星が「アンタレス」、さそりの心臓に当たる1等星だ。アンタレスにつながるS字形あるいは釣り針形に並ぶ星並びが、サソリの身体の部分。この星並び、見つけ易いですよ。さて、その先の星座たちは、残念ながらハケ岳辺りからは見えません。ぜひ皆さん、童話を開いて、銀河鉄道の終着駅南十字星まで続く星座の世界に目を向けて見てくださーい。

ぼくは「星ぼう」



N7F

おおぐま座

わたし、ホミリー

北極星

カシオペア座

こぐま座

天の川

北斗七星

銀河ステーション

はくちよう座

北十字

アルビレオ

夏の大三角

アルビレオ

銀河鉄道

ルート1（マージ）

アルタイル

わし座

白鳥の停車場

みずがめ座

やぎ座

わしの停車場

アンタレス

さそり座

サザンクロス

（南十字星）へ

南S

【黄道】 天空の星座のあいだを

移動する太陽の見かけ上の通り道

● 1等星以上 ● 3等星

● 2等星 ● 4等星以下

2025.8

星爺（ほしじい）

ペルセウス座流星群を楽しもう!!

=出現期間は7月20日～8月19日頃=

夏の風物詩「ペルセウス座流星群」を楽しむ季節がやってきたよ。流れ星は、星空をしばらく見ていれば1つや2つ見ることができると、まとまってたくさん見ることができるとは、○○流星群と呼ばれる天体ショー。ペルセウス座流星群はその3大流星群の一つ。この流星群の極大（最もたくさん流れる時間帯）は、ペルセウス座が北東の空に昇ってくる8月12日から13日にかけての22時頃から明け方まで、1時間当たり30個～40個程度の流れ星が見られると予想されている。

ただ、今年は、満月を過ぎた月が放射点（ここから四方八方に流れる）近くにいるので、北側の空を見上げるのがおススメ。

夏の風物詩

「天の川」を見よう！

宮沢賢治の童話「銀河鉄道の夜」の舞台「天の川」は、この時季、北東から南西にかけてほぼ夜空の真上を流れている。この天の川、見たいと思っても、周囲が明るいといつけるのがなかなか難しい。でも、夏の太三角からさそり座をつないで、じつと見つけてほしい。そうすれば、「天の川」の姿がきっとそこに見えてくると思うよ。

【星空まっぷの見方】

南の星空を見上げる時は「南」を下に、北を見る時はまっぷをさかさまにして「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね！